

# こんにちは 野々市市議会です



作者：野々市市立布水中学校2年生 寺井 咲藍さん

子育て世帯臨時特別給付金など 一般会計補正予算等を審議	..... 2P
各委員会での審査の主な内容	..... 3P
12月定例会一般質問 7人が登壇	..... 4P
総務産業・教育福祉常任委員会視察報告	..... 11P
11月臨時会概要、臨時会・定例会の日程	..... 12P

# 令和3年度一般会計補正予算 子育て世帯への臨時特別給付金、 野々市市は一括現金給付に



令和3年12月定例会を、12月1日から20日までの20日間の日程で開催し、市長より提出された令和3年度一般会計補正予算をはじめとする議案12件、及び追加議案1件が提出され、子育て世帯への臨時特別給付金を含めた、一般会計補正予算総額13億5,347万9千円などを、全員一致もしくは賛成多数で、可決しました。

また、議会議案2件を全員一致で可決しました。

私は賛成・反対しました

○=賛成、×=反対 ※議長（中村 義彦）は採決に加わりません。

	議案名	議決日	議決結果	梅野智恵子	朝倉雅三	小堀孝史	向田誠市	北村大助	馬場弘勝	安原透	西本政之	中村義彦	杉林敏	辻信行	早川彰一	土田友雄	大東和美	岩見博
議案第70号	令和3年度野々市市一般会計補正予算（第7号）について	12月1日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和3年度野々市市一般会計補正予算（第8号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和3年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第73号	令和3年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第74号	令和3年度野々市市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第75号	野々市市第二次総合計画基本構想の策定について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×
議案第76号	野々市市部制条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第77号	野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第78号	野々市市建築関係手数料条例の一部を改正する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第79号	野々市市情報交流館条例を廃止する条例について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第80号	市道路線の認定について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第81号	工事請負契約の締結について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第82号	令和3年度野々市市一般会計補正予算（第9号）について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第11号	野々市市議会会議規則の一部を改正する規則について	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議会議案第12号	少人数学級・教職員定数の改善を求める意見書	12月20日	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

## 各委員会の主な質問と答弁

### 予算決算・総務産業・教育福祉常任委員会

**Q** 生活保護の現状について聞  
う。

**A** 本市の生活保護受給者は、前年同月比で9%程度増加しており、生活保護に至るケースとしては、新型コロナウイルス感染症に関連した失業によるもののほか、年金と家族の経済的支援により、施設入所費を賄っている高齢者が、親族からの支援が受けられなくなったことにより困窮にいたるケースも見受けられる。

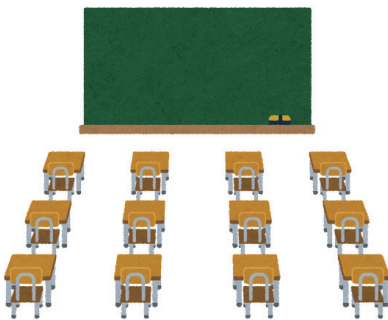
**Q** 給食センターの燃料費の補正予算を、価格高騰により100万円計上しているが、詳細な内訳を伺う。

**A** 年度末までの燃料使用料を想定し、補正額を算出した。燃料の内訳は、灯油の費用である。

**Q** 教育費の中学校管理費と小  
学校管理費に、それぞれ施設  
改修費が計上されているが、詳細を  
伺う。

**A** 小学校管理費の教室改修は  
野々市小学校のパソコンコー  
ムの改修である。現在1人1台のタブ  
レット端末を使用していることから、  
パソコンルームが不要となるため、普  
通教室等に対応できるように改修する  
ものである。

また中学校管理費においても、現在  
ICT教室として多目的に利用してい  
る教室を普通教室に対応できるように  
改修する費用を計上している。



**Q** ふるさと納税業務で補正予  
算を350万円計上している  
が、内訳を伺う。

12月1・10・13・14・  
17・20日の6日間

**A** ふるさと納税の実績が、11  
月末現在で976件、寄附額  
が1335万6千円である。

毎年11月及び12月にふるさと納税  
が伸びる時期を迎え、その寄附額が  
700万円ほど見込まれるため、返  
礼品や係る経費等を計上した。

**Q** 自治体の行政手続のオンラ  
イン化推進のため、介護保険  
の手続をマイナポータルからマイナ  
ンバーカードを用いたオンライン化  
するためのシステム改修をすること  
によって、利便性はどのように向上  
するのか伺う。

**A** これまでは紙による手続の  
ため、その都度自治体窓口に  
来庁する必要があったが、自宅など  
でオンラインにより手続ができるよ  
うになるため、利用者の利便性は上  
がると思われる。

### 採択された意見書

「少人数学級・教職員定数の改  
善を求める意見書」

#### 【要旨】

改正義務標準法が成立し、小学校の  
学級編成標準が学年進行により段階的  
に35人に引き下げられた。今後は中学  
校・高等学校での35人学級や30人学級  
の早期実施が必要であるが、学校現場  
では、新型コロナウイルス感染症対策  
による教室の消毒作業等や貧困・いじ  
め・不登校に加えGIGAスクール構  
想の1年前倒し実施など解決すべき課  
題が山積しており、教材研究や授業準  
備の時間を十分に確保することが困難  
な状況となっている。ゆたかな学びや  
学校の働き方改革を実現するためには、  
加配の増員や少数職種の配置増など教  
職員定数改善が不可欠である。

地方自治体が計画的に教育行政を進  
めることができるように、以下につい  
て国及び政府に要請する。

・中学校の35人学級の早期実施  
・高等学校の35人学級に向けた検討  
・加配の増員、少数職種、ICTサポー  
ターの配置増など教職員定数改善の  
推進





馬場 弘勝 議員

## 野々市中央公園拡張事業の推進には、市長のトップセールスが必要ではないか

多くの企業に参入いただけるように、先頭に立って働きかけを行っていききたい

- 野々市中央公園拡張事業を前に進めるために**
- Q** 野々市中央公園拡張事業において整備する体育施設は、マネジメント（収益性・受益者負担）や官民連携のバランスを考慮した運営方法を検討すべきではないか。
- A** 市長 様々な角度から、施設の収益性、PFI事業の導入など、官民連携による手法について、十分に検討していく。
- Q** 本市と民間事業者との官民対話を通じて、市場の動向を見極めるサウンディング市場調査の実施タイミングはいつなのか。
- A** 市長 令和4年度から予定する野々市中央公園拡張基本計画の策定に併せて行うPFI導入可能性調査のなかで、実施する予定としている。
- Q** 事業の推進、民間事業者への告知について、市長自らのトップセールスが必要ではないか。
- A** 市長 本事業をPFI事業で進める方針となった場合は、多くの企業に参入いただけるように、先頭に立って、積極的に働きかけを行っていききたい。

- 子どもたちの登下校における安全を確保するために**
- Q** 不審者情報等の緊急事態が発生した時に、関係機関、関係部署の対応、見守り隊への連絡も含めて、適切に機能するのか、連絡体制は万全なのか。
- A** 教育文化部長 危険度に応じたレベル0〜4の5段階のいずれかを判断し、事案発生時の緊急連絡網を使って指示を出している。保護者や見守り隊の方々には、各小学校のメール配信システムに登録いただき、一斉メールによって、連絡を行っている。
- Q** 一刻を争う事態の発生時の情報伝達方法や対応、見守り活動の意見交換、活動の継続性の工夫、安全や防犯の講習会も含め、地域と学校、行政が一体となって取り組むことを目的とする協議会を設置すべきではないか。
- A** 教育文化部長 協議会の設置については、令和4年度から始まる「コミュニティ・スクール」と連携するなどして、子どもの安全確保に取り組む体制づくりについて、今後も研究していききたい。

- 豪雨による水災害を防ぐために**
- Q** 流域治水の観点で、手取川ダムや河川のしゅんせつ工事（堆積土砂を取り除く工事）の適切な実施を求めるべきではないか。
- A** 市長 各施設の管理状況を注視し、手取川流域開発期成同盟会や石川県治水協会を通じて、国や県に対し、強く要望を行っていく。
- Q** 田んぼダムの試験的な導入を目標に、関係者へ具体的なアプローチをすべきではないか。
- A** 市長 田んぼダムの実施に向けた可能性調査として、農業生産者と意見交換を実施している。貴重なご意見をもとに、今後、実証実験の実施へ向け、さらに具体的に検討していく。
- Q** 雨水浸透枳は、屋根に降った雨水をゆっくりと地面に返す仕組みである。本市の建物密集度を考慮し、設置を推進するために、設置助成を創設すべきではないか。
- A** 市長 雨水の流出抑制、地下水の保全、健全な水環境の形成にも効果が期待されており、雨水浸透枳の設置に関する助成について、今後、具体的に検討していききたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/lOcPy7RJyCU>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



大東 和美 議員

## 消雪装置開発のプロジェクトチームを結成してはどうか

国土交通省北陸整備局には雪害対策に関する研究・開発を推進

- Q** 本市の課題、①除雪機械が市内だけでは足りない。金沢市や白山市の企業とも協定は結ぶが、必要な時は一斉に必要。②オペレーターの高齢化や担い手不足、除雪の依頼は毎年ではない。仕事としては不安定。③消雪装置の地下水の利用は抑えたい。④雪捨て場の確保。市内ではトラックでの運搬作業が増え、遠くなっている。消雪装置開発で地方創生と課題解決のために投資的開発に若手研究者の活躍推進で、取り組んでみませんか。
- A** 市長 新たな消雪装置の開発について、技術開発が進み、実用化の際にはいち早く導入できるよう準備を進めてまいりたい。



- 行政のデジタル化  
デジタル障がい者手帳の活用を推進してはどうか**
- Q** 見られる手帳所有者の心理的負担や、手帳を確認する側の手間を軽減することが期待されている無料アプリ「ミライロID」を公共交通機関や公共施設等で活用してはどうか伺います。
- A** 総務部長 現在、本市では、ののいちバス株式会社が運行するシャトルバス「のんき」で、障がい者手帳を提示していただいた方の運賃の割引を行っているが、今月10日（令和3年12月10日）からは、「ミライロID」のアプリを登録して提示した方も、同様に割引ができるよう準備を進めている。利用のニーズや導入のメリットなど、さらに調査してまいりたい。
- 中学生の防災リーダー養成講座を開催し、育成してはどうか**
- Q** 全国各地で中学生の防災リーダーの育成が進められています。
- A** 中学生を対象に「ジュニア防災リーダー養成講座」を開催。

- 受講終了後、生徒たちは認定され、各校で取り組みを始めている。講座を通して、何のために行うのかを考えながら行動する主体的な学習姿勢が育めれば」と期待されています。
- A** 総務部長 若年層への防災教育については、金沢工業大学の防災減災プロジェクト「SORA（ソラ）」に所属する学生が、市内の小学生に対して、ゲームを織り交ぜた、楽しく学べる防災教育を行うなど、取り組みが進んでいます。今後は、防災訓練や防災講座などに、中学生などの若年層も対象に広げて、参加を促してまいりたい。
- その他の質問項目**
- 一、誰でも使いやすく
  - 一、高齢者向けスマホ教室の開催で情報格差の解消を目指してはどうか
  - 一、0歳〜2歳児の産後ケアや家事育児サービスの充実
  - 一、高齢者の移動支援として、マイナポイントのさらなる上乗せについて



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/Rq3xcj9xVcQ>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





向田 誠市 議員

## 家庭用生ゴミ処理機設置に要する補助及び堆肥ポイント制度を創設してはどうか

ごみ減量化にも繋がる取組にもなるので今後、どのような支援が出来るのか検討してまいります

- Q** 本市の小学生、中学生及び職員における勉強会等の進捗状況及び成果は。
- A** 企画振興部長 ● 金沢工業大学の協力により、本市の未来を考える内容や、理想の未来を提案する目標で取組中。
- SDGsに関する件**
- Q** 本市の小学生、中学生及び職員における勉強会等の進捗状況及び成果は。
- A** 企画振興部長 ● 金沢工業大学の協力により、本市の未来を考える内容や、理想の未来を提案する目標で取組中。
- 手取川ダムに関する件**
- Q** 中国資本の会社による土地の買収を規制する必要があると思うが。
- A** 市長 ● 手取川ダムは、本市のみならず、県の貴重な水源と認識しており、関心を持って動向を注視して行く。
- 新型コロナウイルス感染症に関する件**
- Q** 集団接種と医療機関接種が同時の場合、医療従事者の手配体制及び複数種類のワクチンを取り扱う時の市民に対する不安払拭は図れるか。
- A** 市長 ● 野々市市医師会をはじめ、多くの関係機関よりご協力をいただいています。市民の皆

- Q** 全くワクチン接種していない市民の割合及び接種周知と、五歳から十一歳までの子供達が接種開始になった場合の問題点は。
- A** 健康福祉部長 ● 十四・五％、約七千二百〇〇人で、個別の通知により接種案内を送付している。現在、小児科医療機関と実施体制等を検討中です。
- Q** 政府からの給付金対象外の子どもさんに対する本市の対応策は。
- A** 健康福祉部長 ● 給付対象外は、所得の高い方と考え、現在、市独自の給付等の施策は考えていない。
- カメラリア移転に関する件**
- Q** カメラリアの事業役割をどの程度移行し、その選考基準は。
- A** 教育文化部長 ● 情報文化振興財団拠点を「文化会館フオルテ」に移し、地域で活動する団体とも連携し、活動を継続する。
- Q** 市南部コミュニティ拠点が一つなくなる事と、既存施設

- Q** 野々市市体育施設整備実施計画に関する件
- A** 教育文化部長 ● フォルテに移転しても、市民の教養の向上と芸術文化の振興を図り、生涯学習や交流の場として利用いただく。
- Q** 富奥公民館の活性化を図り「新たなコトが生まれる地域づくりの核」に繋げよ。
- A** 教育文化部長 ● これまでの実績を踏まえ、情報文化振興財団と連携を図り、充実した事業を行っていく。
- Q** 中央公園拡張予定地に隣接する墓地公園用地は、将来的に必要な場合に検討しては。
- A** 総務部長 ● 中央公園隣接地の用地は、将来の公共施設用地として確保してまいります。
- 除雪対策に関する件**
- Q** 土木企業社員や市民に、免許取得補助金制度を設け、重機オペレーターの確保に努めては。
- A** 土木部長 ● 近隣自治体でも事例が少ないので、まずは情報収集に努めてまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 [https://youtu.be/4I6jkvbsb\\_4](https://youtu.be/4I6jkvbsb_4)

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



土田 友雄 議員

## 唯一の資源である温泉スタンドを消さないでほしいと考えるが、市長の考えを問う

温泉資源を有効活用するため、引き続き民間事業者などへ働きかけていきたい

- 温泉について**
- Q** 温泉スタンドの更なる宣伝や温泉水の宅配をしてはどうか。温泉スタンドの管理運営を第三セクターや民間に委託するという選択もある。唯一の資源を消さないでほしいが市長の考えを問う。
- A** 市長 ● 温泉スタンドについては開設当初より、市内外へ広く周知を行ってきた。民間等への管理運営委託については、今年度、温泉事業者への呼びかけを行い、問い合わせもあつたが、コロナ禍ということもあり、具体的な提案に至っていない状況である。温泉資源を有効活用することについては、引き続き、民間事業者などへ働きかけを行っていききたい。
- Q** 温泉ミストや入浴剤等の開発ができないものか研究していただきたいと考えるが、市長の考えを問う。
- A** 市長 ● 地域資源の活用は、本市のイメージや魅力を高めるべく、温泉を使用した商品開発についても、民間事業者などへ働きかけていきたい。

- 学校教育について**
- Q** 保健衛生について、「歯や体を清潔にすること」や、「男性も女性も自分自身の体を大切にすること」を、しっかりと学校教育の中で正しい知識として教えてほしいと思うがいかがか。
- A** 教育文化部長 ● 議員の言うとおり自身のからだを大切にすることは生きていくうえで最も大切なことであり、子どもが自分自身と他者の健康を一生大切にできるよう、引き続き適切に指導を行っていく。
- Q** 授業に入る前に、一言「良い話」をしてはどうか。野々市の気候風土に合った野々市らしい道徳をお願いしたい。
- A** 教育文化部長 ● 学校では道徳科の時間における説話のほか、朝礼や終礼、集会などで、教師の願いや体験に基づいた話をしていく。今後も、学校の全ての教育活動を通して、子どもの道徳性を養えるよう努めていきたい。
- Q** 朝食をしっかりとることと給食時間の変更により、気力、体力、学力の向上は見違える

- Q** と思うがいかがか。
- A** 教育文化部長 ● まずは朝食を食べていない児童生徒の学習状況や家庭状況を適切に把握し、保護者と連携を図り、学校に指導していくことが必要だと考える。
- 街づくりに大切な、空気、水、道路について**
- Q** 水道管の老朽化に関する現状と今後の見通しを問う。
- A** 土木部長 ● 本市の老朽管の割合は約23％であり順次改修を行っている。財源については現在、水道事業の経営状況は良好であるため当面の間水道料金の改定は必要がないと考える。
- Q** 道路整備について、交通量の調査をする際には都市計画道路と合わせて渋滞の緩和に向けて対策を練ってほしいと考えるがいかがか。
- A** 土木部長 ● 交通の分散をはじめてとした交通ネットワークの構築を図るために、都市計画道路の整備を順次進めている。今後においても関係機関と協議しながら、着実に渋滞緩和対策に取り組んでいきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/yVoHS05uCl0>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。





西本 政之 議員

## こども食堂の気運を高め、支援せよ

### 市民協働で取組み、可能な限りの支援をしたい

**Q** 本市には、ひとり親家庭が少なくなく、こども食堂ができて、必ず多くの利用があると思っている。課題には、場所や財源もあるが、やりたいという人を待つ、受け身の姿勢に問題があると感じる。行政として、積極的に人材を発掘する必要があると思う。そして、応じてくれる人や団体が決まったら、場所や財源の支援をすべきと考えるが、いかがか。

**A** **市長** こども食堂には、貧困対策や孤食の解消、子どもの居場所づくりなど、様々な役割があるが、運営にあたっては、こども食堂の役割を地域の課題として捉え、子どもを地域で見守り、育んでいくとする気運の高まりが大切だと思っている。現在、複数のボランティア団体や個人の皆さんが、立ち上げに向けて「(仮称) みんなの食堂プロジェクト」を計画しており、市としても支援するため準備を進めているところである。社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金を財源とする「地域支え合い推進事業交付金」を運営費として活用することや、登録ボランティアを運営スタッフとして紹介いただくなどの調整をしている。

**Q** パートナリシップ制度とは、同性のカップルの関係を婚姻に準ずるものと公認し、お互いをパートナーと定義する制度である。7月に「パートナーシップ宣誓制度」を開始した金沢市に次いで、12月に白山市が導入する。本市においても導入すべきと考えるが、いかがか。

**A** **市長** 本年11月に、性の多様な性への理解を深める「ハンドブック」を作成するために、「多様な性への理解促進と支援のためのワーキンググループ」を設置した。そこで、先進自治体のパートナーシップ宣誓制度の概要などについて協議した。パートナーシップ宣誓制度の導入に向けて、さらに継続して検討を進めていきたいと思っている。

**Q** 学校現場のハラスメントの問題視されている。実態を把握するために、アンケート調査を実施すべきと考えるが、いかがか。

**A** **教育文化部長** 現時点で調査を実施する考えはないが、悩んでいる方がいた場合のために、教育委員会で相談しやすい体制づくりと対応につとめていく。

**Q** 5歳から11歳への接種について、厚生労働省は、早ければ来年2月ごろから始めるとして、自治体に準備を進めるように要請した。接種体制を含めた本市の方針を伺う。

**A** **健康福祉部長** 大人用のワクチンとは異なる、小児用のファイザー社製ワクチンを使用する。接種体制については、接種に遅れることがないよう、市内の小児科医療機関と十分な協議をしながら、検討していく。

**Q** 新型コロナウイルスワクチン接種について



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/iD69mt1X7vY>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



岩見 博 議員

## 介護保険「補足給付」の縮小で低年金者の介護サービス締め出し

### 介護保険制度持続のためには一定の負担の見直しはやむを得ない

対象区分	80万円以下	80万円～120万円以下	120万円～155万円以下
特養など4施設 (月額:31日)	12,090円 (12,090円)	20,150円 (20,150円)	42,160円 (20,150円)
ショートステイ (日額)	600円 (390円)	1,000円 (650円)	1,300円 (650円)

年収80万円以下でも生活保護世帯は変更なし  
() 内の金額は見直し前の負担額

**Q** 8月から年金収入等が155万円以下の低所得者が特養ホームやショートステイを利用した場合の食費等の一部を補助する「補足給付」の要件が縮小され、利用者の負担増となった。たとえば、年金収入などが120万円を超え、155万円以下の人で、特養ホームなどの利用料は年額換算で23万7250円が49万6400円へと跳ね上がった。まず低年金生活者は介護サービスを利用できなくなる。市長の受け止めを伺う。あ

**A** **健康福祉部長** 利用料の増額によって必要な介護サービスが受けられなくなることはあってはならないが、制度を持続していくためには一定の負担の見直しはやむを得ないと考える。負担軽減については国に要望していくが、市独自の軽減は考えていない。

**Q** 調査の状況と調査報告書の提出はいつ頃になるのか伺う。

**A** **教育長** 11月末までに12回の委員会が開催されており、ヒアリング調査の実施状況にもよるが、調査報告書の完了時期については未定である。

**Q** 2011年10月に大津市で中学2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺してから10年が経過したが、今なおいじめによる深刻な事態が後を絶たない。9年前、岡山市の高校の野球部でマネージャーをしていた生徒が、野球部の監督から激しい叱責を受け自殺した問題で

は、今年11月、県教委は学校の責任を認め、教育長は、「教育委員会の組織としての保身があった」と率直に認めている。当事者や保護者が納得する調査報告書が出るまでに再調査と長期間を要する背景には、教育委員会の下での調査に限界があるというのではないかと受け止めを伺う。

**A** **教育長** 報道は知っているが、どういふ点があるか私自身は分からない。いずれにしても、教育委員会が立ち上げた調査委員会、中立性・公平性を維持し、十分な調査・検証をしていたらと考えている。

**Q** ヤングケアラーの実態調査を

**A** **厚生労働省**は、ヤングケアラーの早期発見・把握、相談支援の推進、社会的認知度の向上に取り組みするための事業費を来年度予算の概算要求に計上したと報じられている。市として事業を取り組む考えはないか。

**A** **市長** 市としても積極的に取り組んでいかなければならない重要課題で、今後、県と相談しながら取り組みを進めていきたい。



一般質問を動画でご覧いただけます。  
※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 [https://youtu.be/5nIXMtiQ\\_CI](https://youtu.be/5nIXMtiQ_CI)

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



## 常任委員会 行政視察報告



令和3年7月に野々市市と「持続可能な開発目標（SDGs）の推進に係る連携協定」を締結した津田駒工業株式会社の野々市工場（栗田地内）行政視察を11月16日（火）に行いました。

会社設立は昭和14年であり、工作機械関連装置の開発を通して、日本の工作機械・部品加工を支え、と共により、世界市場でものづくり

### 総務産業常任委員会

視察は、会社説明の後、3つの工場建物内を順次案内して頂きました。説明は、コードレスマイクとイヤホンを活用して、工場内の騒音を気にせずに聞くことができました。製作している商品は、NC円テーブルやマシンバイスであり、これらの商品は、自動車やスマートフォン等身近な製品の部品加工から、航空機やエネルギー分野などの大型装置部品、さらに医療機関など幅広い分野で活躍しています。

企業として、ISO9001・ISO14001を取得しています。

また、森林を守る活動としてシュレッダーダストから紙を再生してメモ帳を作成しており、製本作業は障がい者雇用特例子会社「ふあみーゆツダコマ株式会社」が担当しています。

今回の視察を終えて、私たちの住む野々市市に、素晴らしい環境の中で世界に貢献する技術力を持った企業が存在することを確認できました。また、商品開発は、お客様からの要望を先取りして開発した商品を提案していることにも感銘を受けました。

今年度は寺院の主要な建物である金堂の南西隅で建物の規模や構造の解明に繋げていくための発掘調査が行われました。



平成30年に発掘された「女子像が線刻された土製品」（左の写真）

国史跡末松廃寺跡の再整備に伴う発掘調査の行政視察を10月7日（木）に行いました。

末松廃寺跡は昭和14年に国史跡に指定された北陸最古級の寺院跡で、昭和46年に現在の史跡公園が完成しました。

平成26年から史跡公園の再整備に向けた発掘調査が実施されており、平成30年には全国初の出土例である、焼き物でできた塔（瓦塔）の一部に女性の絵が描かれた「女子像が線刻された土製品」が発見され注目されました。

### 教育福祉常任委員会

国史跡末松廃寺跡の再整備に伴う発掘調査の行政視察を10月7日（木）に行いました。

末松廃寺跡は昭和14年に国史跡に指定された北陸最古級の寺院跡で、昭和46年に現在の史跡公園が完成しました。

平成26年から史跡公園の再整備に向けた発掘調査が実施されており、平成30年には全国初の出土例である、焼き物でできた塔（瓦塔）の一部に女性の絵が描かれた「女子像が線刻された土製品」が発見され注目されました。



視察では、末松廃寺跡のこれまでの事業経過や発掘調査成果について説明を受け、発掘調査が順調に進んでいることを確認しました。



## 都市計画道路「野々市中央公園西線」の今後のスケジュールを伺う。

令和4年度に事業認可を受け、引き続き用地測量・道路詳細設計などを行い、順次、用地取得・工事を進める。



北村 大助 議員

### 市内道路交通ネットワーク

**Q** 都市計画道路「野々市中央公園西線」の早期完成に向けた事業進捗と今後のスケジュールを伺う。

**A** 土木部長 ●この路線は都市計画道路高尾郷線から県道矢作松任線までを南北に結ぶ約730mの都市計画道路です。北側の約160m区間はおおむね整備が完了をしております。南側の約570mは現在、路線測量などの予備設計業務を進めています。本路線は市役所と野々市中央公園とを結ぶ重要な幹線道路であり、早期の整備、供用開始を目指すことが大変重要であると認識しております。今後、令和4年度には事業認可を受け、引き続き用地測量・道路詳細設計などを行い、順次、用地取得・その後道路築造工事を進め、隣接する土地区画整理事業区域の土地利用が速やかに図られるよう、鋭意努力してまいります。

**Q** 都市計画道路「三納下林線」が都市計画決定を受けてから約21年の月日が経過している。当区間の一部は今もなお未着手区間と

して残っているが見直し対象になるのか。

**A** 土木部長 ●この路線は市役所に隣接するあらみや公園から堀内上林線までを東西に結ぶ総延長約990mの路線で、平成12年11月に都市計画決定を行っております。この三納下林線におきましては、緊急時や災害時の防災拠点である市役所を中心として主要な公共施設へのアクセス道路として位置づけられ、また道路交通の広域的なネットワークの観点からも重要な路線でありますので、都市計画決定の見直しを行う予定はございません。

**Q** 将来の道路交通ネットワーク網という観点から考察したとき、自然と「野々市中央公園西線」及び「三納下林線」の両都市計画道路を延伸し直結することにより、フロー効果・ストック効果が新たに大きな価値として生まれてくるのではないかと考える。行政機能を持つ市役所周辺エリアと健康防災拠点を直接結ぶことは本市の根幹となり、新たな礎として物流・産業創出・渋滞解消・都市機能の強化などヒト・コト・モノ、そして「賑わい」を結ぶ重要な主要路線になると考える。

将来をしっかりと見据えた大局的な見地から両路線を直結すべきものと提案致しますが見解を伺う。

**A** 市長 ●道路ネットワーク網の整備については物流などの効率的な輸送、地域の産業創出など地域経済の活性化に大きく寄与するとともに、渋滞解消・災害時ににおける広域的な迂回ルートの確保といった都市機能の強化や賑わいの創出など様々な観点からもその必要性は重要であると認識を致しているところです。市役所周辺エリアと健康防災拠点であります野々市中央公園との道路ネットワークは都市計画決定されています。「野々市中央公園西線」、「堀内上林線」、「三納下林線」及び県道矢作松任線の4路線により広域道路ネットワーク網の役割を果たすものと考えております。都市計画道路の延伸や直結など都市計画決定については、土地利用の制限を行うことにもつながることから、関係する土地所有者の方々のご理解・ご協力も必要となります。まずは、「野々市中央公園西線」整備を優先してまいります。広域的な道路ネットワーク網は、今後も継続して検討してまいります。



一般質問を動画でご覧いただけます。

※二次元コードは機種によりご利用いただけない場合があります。  
PCからは、 <https://youtu.be/fDc2z5l5LWk>

一般質問のページは、各議員の文責により編集されています。



## 11月臨時会概要

令和3年第6回11月臨時会を11月4日に会期1日間で開会し、市長から一般職の任期付き職員採用等に関する条例の一部を改正する条例をはじめとする議案4件が提出された。

条例の内容は、公務員の期末手当及び勤勉手当と民間事業所の特別給の支給割合の格差を是正するため、人事院勧告に基づき、期末手当を減額するもの。

引き下げの対象は、市議会議員、市長、副市長、教育長の特別職のほか、特定任期付職員、一般職の職員及び会計年度任用職員で、一般職の職員及び会計年度任用職員は0.15月、その他の者は0.1月引き下げる。

市議会議員及び特別職の期末手当に関する条例は全員一致をもって、特定任期付職員、一般職の職員及び会計年度任用職員の期末手当に関する条例の3件については、賛成多数で可決した。



## 2月臨時会の予定 会期：2月3日(木)（1日間）



日	月	火	水	木	金	土
1/30	1/31	2/1	2	3 午前10時～ 臨時会開会 午前11時～ 予算決算常任委員会 午後3時～ 臨時会再開	4	5

## 3月定例会の予定 会期：2月28日(月)～3月24(木)（25日間）



日	月	火	水	木	金	土
2/27	2/28 午前10時～ 本会議 開会	3/1	2	3	4	5
6	7 午前10時～ 本会議 一般質問	8 午前10時～ 本会議 一般質問	9 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	10 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	11	12
13	14 午前9時30分～ 予算決算常任委員会	15 午前10時～ 議会新型コロナウィルス感染症対策会議	16 午前10時～ 総務産業常任委員会 午後2時～ 教育福祉常任委員会	17 午後1時～ 議会改革・活性化特別委員会 午後3時～ 体育施設等に関する調査特別委員会	18	19
20	21	22 午前10時～ 予算決算常任委員会	23	24 午後2時～ 本会議 閉会	25	26